

村井ひでき 通信 第2号

【経済成長戦略編】



自民党衆議院埼玉県
第一選挙区支部長

(見沼区・浦和区・緑区・岩槻区)

村井ひできです。

あけましておめでとうございます！

本号では、「**経済成長戦略**」

についてお伝えいたします。

今こそ求められる「経済成長戦略」

全ての国民の皆様へ、安心して豊かな暮らしを送っていただくこと。これが、村井ひできが目指す、政治の大きな目標です。そのために最も大事な政策。それは、**経済を成長させるための成長戦略**です。

もちろん、経済の成長は手段であって目的ではありません。経済の成長を通じて、企業収益・個人所得を伸ばし、全ての日本人が豊かさを実感できるようにする。そのためのキモが経済成長戦略です。

また、国家といえども、「打ち出の小槌」でお金を生み出すことはできません。社会保障や外交など山積する課題を解決するためにはお金が必要です。これを賄うためには、まず、経済のパイを大きくしなければなりません。しっかりした成長戦略を定めて、企業の収益・個人の所得が伸びれば、自然に税収も増えていきます。

「経済の成長なくして、国民生活の安定なし。」村井ひできは、日本経済の立て直しに全力で取り組みます。



TV出演しました。左から2番目は、与謝野馨前経済財政政策担当大臣。



詳細は「村井ひできHP」をご覧ください。



元気いっぱいの子供達。この子供達の未来のために頑張ります。



毎日、駅立ち実施中です。

「失われた20年」の原因

「なかなか景気が良くなりませんね。いつになったら景気が良くなるの？」私が街頭でお伺いする質問です。確かに、国の経済規模を示すGDP(名目)や、労働者の給与水準で見ると、この20年間、我が国は全く成長していません。まさに停滞の20年が続いているのです。

日本経済の現状を一言で言うと、「**縮小の悪循環の継続**」です。経済全体ではお金も人材も十分あるのですが、企業も家庭もそれらを有効活用していないため、経済全体でお金や人材がうまく回っていません。

例えば、十分な現預金を持っている企業も少なくありませんが、消費が低迷しているため、投資や雇用にお金を使いません。すると、家庭は、雇用の心配や将来不安のため、給料を貯金に回して消費に回しません。ますます国内経済が冷え込むため、企業が投資を抑制し、雇用環境が悪化します。

企業と家庭がお互いに「縮小の悪循環」に陥り、お金や人材が有効活用されないため、経済全体が盛り上がらない。これが、日本経済の問題です。

【討議資料】 平成24年1月発行

《発行》自民党埼玉県第一選挙区支部 住所:さいたま市浦和区高砂1-10-18-4F TEL:048-825-0085

経済成長のための「守り」の対策 ～企業や家庭に安心感を！～

「失われた20年」から抜け出し、「拡大の好循環」を実現するためには、何が必要なのでしょう。村井ひできは、「守り」と「攻め」の両面の対策が必要だと考えます。

まず、企業や家庭が安心して投資や消費を行うことの出来る環境を整備する「守り」の対策が必要です。

今、企業は、空前の円高、人口減少、中国や韓国との競争など、様々な課題に直面しています。しかし、現在の政府は、環境規制の強化、企業負担の拡大、労働規制の強化など、必死で戦う企業を苦しめる制度改悪を次々に行っています。このままでは、国内産業が「根こそぎ」空洞化し、国内から雇用が失われてしまいます。

家庭も、政府の朝令暮改に振り回されていないでしょうか。財源を確保しないまま安易に政策を打ち出

したため、子ども手当も高速道路無料化も、途中で見直しを余儀なくされました。

今政治に必要なことは、企業や家庭が安心して活動できる、安定した経済基盤の整備です。まず、大胆な金融政策による円高阻止とデフレ脱却、高すぎる法人税率の世界水準への引き下げ、経済活動への悪影響を最小限に抑えるエネルギー政策など、あらゆる政策手段を総動員し、企業が世界と勝負するために必要な環境を整備する。

また、保育所や幼稚園など子育て環境の整備、子どもたちが質の高い教育を低廉に受けられる教育改革、真に支援が必要な方に充実した医療介護サービスを提供する社会保障改革を通じて、国民の将来不安の解消に全力を尽くす。

村井ひできは、一步ずつ丁寧に「守り」の対策を講じ、経済の基礎を立て直します。

経済成長のための「攻め」の対策 ～挑戦を、日本の力に！～

ただし、「失われた20年」から脱却するには、これだけでは不十分です。**国内でお金や人材が循環するための起爆剤として、「挑戦」の応援が必要です。**

明治維新や戦後復興。我が国経済の急速な発展を支えたのは、いつの時代も夢に向かって挑戦する無数の起業家でした。トヨタもソニーも、それまでにない商品に挑戦することで、町工場から世界に羽ばたきました。

今、我が国にとって一番必要なこと。それは、我々日本人が持つ高い創造性や技術力を、日本の優れた伝統である「挑戦」を通じて最大限活かしていくことです。挑戦者が経済のパイを生み出すことで、この国に所得拡大の好循環を生むことができます。

村井ひできは、こうした挑戦の応援に全力で取り組みます。まず、既得権益を保護し、挑戦者の参入を阻む規制を徹底的に見直します。介護や保育など、高いニーズがあるのに「行列」が発生している分野がたくさんあります。規制を大胆に見直し、便利で安価なサービスをたくさん生みだします。

また、挑戦者を賞賛する風土を作ります。「出る杭を

打つ」のではなく、思い切って伸ばす。そして、失敗しても何度でも再挑戦できる社会が必要です。大学の国際化や経済界との連携の促進、資金面におけるベンチャー・中小企業の支援、万一失敗した場合のセーフティーネットの整備、再挑戦を支える教育・雇用制度の整備などを進めます。

さらに、挑戦者が世界に羽ばたくことを手助けします。今、海外では、日本の食、ファッション、アニメが大人気です。我が国の製品やサービスの中には、海外展開の可能性を秘めた宝がたくさん眠っています。アジアなど海外に積極的な営業活動を行うことで、こうした潜在力の開化をお手伝いします。

「挑戦」で、革新的な商品・サービスを創りだす。日本発でGoogleやAppleのような企業が生まれれば、我が国に莫大な富を生み出します。米国に出来て、我々に出来ない理由はありません。挑戦しやすい環境を整備することで、挑戦者をどんどん生み出し、日本経済の閉塞感を解消する。そして、全ての日本人が豊かさを実感できる社会にする。

村井ひできは、「挑戦を日本の力に」するために全力で取り組みます！

ポスティングボランティア募集！

政策本位の政治を実現するため、できるだけ多くの方に「村井ひでき通信」を読んで頂きたいと思っています。ご自宅の周囲10件でも結構です。ご協力頂ける方は村井ひでき事務所(048-825-0085)までご連絡ください。

<村井ひでき事務所連絡先>

住所：浦和区高砂1-10-18-4F TEL：048-825-0085

『村井ひできプロフィール』

昭和55年さいたま市生まれ(旧浦和市)。
浦和市立別所小学校、私立海城中学・高等学校、
東京大学卒業。平成15年財務省入省。米ハーバード大学大学院修士・ケネディ行政大学院客員研究員を経て、主税局課長補佐、参事官補佐。平成23年9月財務省退官。一般公募を経て、10月より現職。

FAX：048-826-5304 Email：info@muraihideki.com